

教育局

空知教育局

小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業実施報告書 (教育局用)

1 今年度の研究指定校の活動内容の成果と課題を記載してください。

[成果]

- ・小中高それぞれのキャリア教育の取組をお互いに理解し、12年間のキャリア全体計画を作成することを通して、系統性のある指導内容や指導方法について工夫・改善することができた。
- ・児童生徒の地域への興味・関心を高める取組について情報共有することにより、小中高の連携した取組の実現化に向けた検討を行うことができた。

[課題]

- ・地域未来づくり会議での委員のアドバイスを取り入れ、地域との連携を図った児童生徒の地域への興味・関心をさらに高める取組を計画する必要がある。

2 1の成果のなかで、もっとも評価できるものを記載してください。

- ・小中高が連携したキャリア教育の全体計画を作成する中で、キャリア教育の分析シートを活用するなどして、取組の課題を明確にし、工夫・改善を図ることができた。

3 1の課題を解決させ、各取組を円滑に進めるためには、教育局として、具体的にどのような支援・方策等を実践するか(実践すべきか)記載してください。

- ・地域未来づくり会議の開催だけでなく、各研究指定校の取組をサポートできるよう、講演会の講師依頼の協力や座談会への参加を行い、研究指定校と地域未来づくり会議委員の連携が図られるよう努める。

4 地域未来づくり会議に関する次の点について記載してください。

1) 開催の成果

- ・自治体、地域企業や保護者の参加により、各学校への取組に対する助言や意見を通して、本事業に対する期待を把握することができ、次年度の取組への協力体制を構築することができた。
- ・学校教育を通して、ふるさとへ愛着を持ち、地域活性化へつなげられる方策について情報共有が図られた。

(2) 課題

- ・年度内に複数回、会議を開催し、関係者及び団体等との連携を密にするとともに、それらの意見を学校の取組に反映させることが重要である。

(3) 委員からの意見

- ・地域は学校を支えていくので、学校は教育活動の中でこれからも地域の良さを学んでいってもらいたい。
- ・地元にある企業として、これらの取組に対する協力を惜しまない。
- ・子どもたちが「この町に住みたい」という愛着を持ってもらえるよう自治体、学校、保護者、地域企業が一体となって取り組んでいきたい。
- ・町では、学校からの要望があれば地域の職業を理解するような体験活動を提供できると考えている。
- ・町内の中学生が全て町内の高校へ進学するとは限らないので、中学校から高校へのキャリアノートの接続に当たっては、使い方に工夫が必要である。